

| | | | |
|-----|-----|-------|-------|
| 科目名 | 日本語 | 科目コード | 30910 |
|-----|-----|-------|-------|

| | |
|----------|---------------------------------|
| 学科名・学年 | 留学生全学科・3年 |
| 担当教員 | 松田 由美子 |
| 単位数・区分 | 4単位・必修 |
| 開講時期・時間数 | 通年，120時間【内訳：講義116，演習0，実験0，その他4】 |
| 教科書 | 「文化中級日本語」を使用する。 |
| 補助教材 | ビデオや聴解教材、新聞、雑誌等。 |
| 参考書 | |

【A．科目の概要と関連性】

高専で学ぶ留学生にとって、日本語力は勉学活動及びそれを支える日常生活の双方において要求される。それらをふまえ、学生がさまざまな場面で日本語によるコミュニケーションがスムーズに行なえることを第一の目的とする。そのための日本語の総合的な基礎力を、4技能（話す・聞く・読む・書く）バランスよく身に付けることを通じて目指す。

【B．到達目標と学習・教育目標との対応】

この科目は長岡高専の学習・教育目標の(B)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、各到達目標と長岡高専の学習・教育目標との関連を以下の表に示す。

| 到達目標 | 評価の重み | 学習・教育目標との関連 |
|--|-------|-------------|
| ・日本語の基本的な総合力を身につける。 | | |
| 学習活動、及び日常生活に必要な基本的会話技術を習得する。 また、さらに相手や場面によつての使い分けなどを学ぶ。 | - | b1,b2 |
| 既習文法や表現の組み合わせ方を習得し、より適切で正確な表現ができることを目指す。 | - | b1,b2 |
| レポートや小論文など、学生にとって必要な文章作成技術の基礎を学ぶ。 | - | b1,b2 |

【C．履修上の注意】

語学は知識だけでなく、運用することが重要なので、授業に関する予習、復習はもちろん、各自が日々日本語に関心を持ち、運用する地道な努力が必要とされる。

【D．評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。50点以上を合格とする。

定期試験（70%）【内訳：前期中間15，前期末20，後期中間15，後期末20】

その他の試験（10%）

レポート（0%）

その他（20%）

【E . 授業計画・内容】

前期

| 回 | 内容 | 備考 |
|----|--------------------|-----------|
| 1 | 「文化中級日本語」 1 課 | |
| 2 | ” | |
| 3 | ” | |
| 4 | 2 課 | |
| 5 | ” | |
| 6 | ” | |
| 7 | 前期中間試験 ビデオ等による発展授業 | 試験時間：50 分 |
| 8 | 3 課 | |
| 9 | ” | |
| 10 | ” | |
| 11 | 4 課 | |
| 12 | ” | |
| 13 | ” | |
| 14 | ” | |
| - | 前期末試験 ビデオ等による発展授業 | 試験時間：50 分 |
| 15 | 試験解説と発展授業 | |

後期

| 回 | 内容 | 備考 |
|----|--------------------|-----------|
| 1 | 「文化中級日本語」 5 課 | |
| 2 | ” | |
| 3 | ” | |
| 4 | 6 課 | |
| 5 | ” | |
| 6 | ” | |
| 7 | 後期中間試験 ビデオ等による発展授業 | 試験時間：50 分 |
| 8 | 7 課 | |
| 9 | ” | |
| 10 | ” | |
| 11 | 8 課 | |
| 12 | ” | |
| 13 | ” | |
| 14 | ” | |
| - | 後期末試験 ビデオ等による発展授業 | 試験時間：50 分 |
| 15 | 試験解説と発展授業 | |